

令和7年度 第2回 市川市健康都市推進協議会会議録

1. 日時：令和8年3月25日(水)午後2時から午後3時

2. 会場：市川市役所 第1庁舎5階 第3委員会室

3. 出席者(敬称略)

【座長】

和洋女子大学 教授 杉浦 令子

【委員】

一般社団法人市川市医師会	理事	岩澤 秀明
一般社団法人市川市薬剤師会	理事	寺澤 千恵子
千葉県市川健康福祉センター	センター長	影山 育子
市川市健康都市推進員会	会長	曾田 修吉
市川市保健推進員	代表	福井 愛実
市川市食生活サポート協議会	副会長	君和田 敏子
市川市スポーツ協会	理事長	伊藤 幸仁
市川市自治会連合協議会	理事	岩松 昭三
特定非営利活動法人 いちかわライフネットワーククラブ	TMO フェロー	五関 雅子

【事務局】

健康都市推進課長 佐藤
主幹 茅根
担当 次藤

【傍聴者】

0名

4. 会議内容

冒頭の開会挨拶は省略

【座長 杉浦委員】

議題に入ります。議題1を事務局より説明をお願いします。

【事務局】

事務局からの説明。

【座長 杉浦委員】

ただいま説明があった議題1についてご意見ありますでしょうか。ご意見・ご質問がある方は挙手をお願いいたします。

【岩澤委員】

循環器の指標について市の指標として基準値から5mmHGの低下とあるが、その基準値はどのような基準なのか。

【事務局】

基準値は令和6年度に実施したアンケートデータ等が基準値となっている。

【座長 杉浦委員】

次の議題に入らせていただきます。それでは議題2を事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

事務局からの説明。

【座長 杉浦委員】

ただいま説明があった議題2についてご意見ありますでしょうか。ご意見・ご質問がある方は挙手をお願いいたします。

【岩澤委員】

予防接種に関する割合等があればいいと思う。予防接種は十分な医学的な裏付けによりなされているが、大人の予防接種には残念ながら賛否がある一方、こどもの予防接種にはその子のみならず社会全体に影響されているため指標に入れてもいいと考える。

【事務局】

予防接種を指標に入れられるかどうか関係課と検討をしていく。

【君和田委員】

食育に関心がある人が83%とあるが、私はこの数値は高いと思っている。100%を求めるのは難しいのではないかと。また、それを勘違いしている人も多いのではないかと思う。例えば週3回以下しか朝食を食べない中高生が約25%とあるが、逆に約75%の人は朝食を食べている。いろいろな諸事情もあるが、このアンケート結果は素晴らしく頑張っていると思う。

いろいろな諸事情の中には経済的な理由等もあると思うが、朝食をとることの重要性等の啓発をしていくことが重要だと考える。

【事務局】

食育を担当する部署と連携してArucoのプッシュ通知機能等を活用し適切な啓発活動を進めていきたい。

【伊藤 委員】

1日の歩数について、市川市には様々なウォーキングマップがあるのでそれを活用したほうがいいと思う。4月にはツーデーマーチがあり、その参加者も指標の一つとしていた時もあった。少年野球等の子どもたちにも声かけを行いツーデーマーチに参加する等幼少期より市川市を歩いて回ることをやっていくとそれが大人になったときに役立つと考える。

増進計画の中にもまちづくりの部分があり、8000歩歩くだけではなく歩きやすい社会も重要だと考えるのでそのあたりも進めていただければと思う。

【事務局】

健康都市とは身体健康だけではなく都市健康等を見ていく必要があり、まだまだ事業に反映できていることも少ないため庁内関係機関と協議を進めていきたい。

【岩松委員】

健康寿命の繋がりとして一番重要なのは人とのつながりと考えている。人とのつながりがないと健康寿命の延伸にはつながらない。個人の健康をだけではなく地域とのつながりの数値も一緒に考えていったほうが良い。

【事務局】

計画を策定する際に、本市に地域とのつながりを感じる人の割合が低いのは課題と考えている。今後関係部局と数値を改善できるように協議を進めていく。

【座長 杉浦委員】

様々なご意見をいただきありがとうございました。以上をもちまして、本日の議題は全て終了いたします。